



秋保クラフト
バレー
Craftsmanship & Nature

これからの地域とくらしの工芸

～工芸を広めるためにできること～

オンラインシンポジウム vol.6



2026年

2月14日(土)

16:00▶17:50

- 【主催】手しごとAKIU
【共催】東北工業大学 地域のくらし共創デザイン研究所
東北工業大学 地域連携センター
【協力】みやぎ地場産品開発流通研究会
【後援】(公財)仙台観光国際協会
【お問合せ】東北工業大学 地域連携センター (担当/高橋・佐藤)
〒980-0021仙台市青葉区中央4-4-19アーバンネット仙台中央ビル5階
TEL 022-266-5222 FAX 022-266-5226
Email rc-center@tohotech.ac.jp
http://www.rc-center.tohotech.ac.jp/
【申込URL】https://forms.office.com/r/fFq2tpU0Dy

シンポジウム参加申込

申込フォームに必要事項を入力の上お申込みください。



手しごとAKIUは、仙台・秋保温泉郷を拠点に活動する工芸・食・農・観光などの多分野の「手しごと」に携わる人々が集まり、地域資源を活かした交流や情報発信を行ってきました。

これまでの活動では、「手ん店～あきうクラフトフェア～」「ふゆの手しごと～Akiu Winter Festa～」 「クラはく」などを通して、秋保の手しごとの魅力を多角的に発信し、地域と工芸、観光をつなぐ取り組みを進めてきました。

令和7年度に実施した「クラはく」、東京深川での展示会等の報告をするとともに、全国の工芸産地との交流を一層深めることを目指します。

オンラインとリアルを組み合わせた形で、秋岡・時松継承会をはじめ、全国各地の工芸作家・産地とつながり、「これからの地域工芸の発展」を共に考える機会とします。

本シンポジウムを通じて、各産地の様々な知見を共有しながら「工芸のまち・秋保」の更なる発展を目指します。

※手しごとAKIU

2011年(H23)2月、仙台・秋保町で「手しごと」を生業とする工芸作家の「作り手」、農業に携わる「農家」、それらを加工・販売する店舗が連携し、地域内外でイベント・展示・販売活動などを通じて、秋保町のモノづくりや観光の発展、および地域活性化を図ることを目的に設立されました。

手しごとAKIUでは、①持続可能な観光産業の確立を目指し、消費拡大・交流人口拡大を図り、「工芸のまち・秋保」のブランディング ②観光地(工業産地)としての魅力を高め、観光・旅行需要を創出していく「観光とモノづくり、そしてまちづくり」 ③「手しごと」を通じて地域住民の生活水準や満足度や郷土愛を高めることにもつながる「地域住民との密接な関係づくり」 ④秋岡芳夫が提唱する「消費者から愛用者へ」を意識し、「モノを長く大事に使う」北欧の人々のサステナブルな暮らしを学び、地域発信による「SDGsの実践」などを目指します。

※東北工業大学 地域のくらし共創デザイン研究所

本研究所は、子どもの健やかな成長、高齢者の生きがいのある生活、障害のある人の自律した生活を地域や社会全体で連携し、支援することを目指し、これまで実践してきた団体や地域等と共に、学生参画型による自律的で持続的なくらしやコミュニティを創り出す実践的活動と研究を行います。

※東北工業大学 地域連携センター

本学がこれまで培ってきた教育研究資源を積極的に活用しながら、地域と連携協働して、地域振興、産業振興等の実践的活動を支援し、地域の課題解決や活力創出に貢献する事業を展開します。

プログラム

進行: 菊地 良覚氏

(東北工業大学名誉教授・地域連携アドバイザー)

開催宣言 (16:00～16:05)

開催挨拶 (16:05～16:10)

手しごとAKIU 代表 熊野 彰(仙台筆筒 熊野洞)

話題提供 (16:10～16:40)

- ① これまでの手しごとAKIUの活動とこれから期待すること
～みやぎ地場産品開発流通研究会との連携～
佐藤 明氏(東北工業大学地域連携センター)
- ② 秋保ワイナリーの取り組み
～食と工芸をつなぐワイン～
毛利 親房氏(㈱仙台秋保醸造所 代表取締役)

ディスカッション (16:50～17:45)

工芸を広めるためにできること

進行: 菊地 良覚氏

秋岡・時松の想いを繋ぐ『AKI・TOKI継承協議会』/
各産地紹介 / 手しごとAKIUの取組に関しての感想 /
工芸を広めるためにできること～食と工芸～

閉会挨拶 (17:45～17:50)

伊藤 美由紀氏

(東北工業大学 地域のくらし共創デザイン研究所 所長)